

秋の一般公開

開催日：2010年11月25日(木) 9:30～16:00

入場無料
雨天実施

事前申込制

私達の研究所は生活に深いかかわりのある、港湾・海岸・空港の整備や沿岸域の防災、海の環境保全に関する研究を実施しています。今回、研究者による講座と施設見学を行う「研究所ツアー」を開催します。ツアーは4コースを設定しますので、参加ご希望の方は、ご希望のコースをお選びいただき、下記の申込み方法にしたがってお申し込み願います。

コースのご案内

◆Aコース（午前）

9:15（受付）

9:30～10:30（講座）

講座1：空港の施設の計画・設計・施工に関する
最近の技術動向

国総研：波多野 匠

講座2：防波堤の役割と構造形式

港空研：下迫健一郎

10:30～12:00（施設見学）

大型構造実験施設→コンクリート暴露試験場

→台風防災実験水路→デュアルフェースサーベント水槽

→大規模波動地盤総合水路

◆Cコース（午後）

13:15（受付）

13:30～14:30（講座）

14:30～16:00（施設見学）

※講座及び施設見学はAコースと
同様のものになります。

◆Bコース（午前）

9:15（受付）

9:30～10:30（講座）

講座3：港湾工事について

国総研：菅野 甚活

講座4：メキシコ湾油流出事故と流出油対応技術

港空研：藤田 勇

10:30～12:00（施設見学）

メソコスム実験施設→干潟実験施設

→大規模波動地盤総合水路

→油回収実海域再現水槽→水中ロボット水槽

◆Dコース（午後）

13:15（受付）

13:30～14:30（講座）

14:30～16:00（施設見学）

※講座及び施設見学はBコースと
同様のものになります。

ツアーでまわる施設のご案内

●大型構造実験施設

大型構造実験施設は、実物大の構造物の強度特性を調べるための実験施設です。実験する構造物に力をかけるため、広さ約15m角の強固な床、高さ約7mの強固な壁を備えています。

●コンクリート暴露試験場

コンクリートの耐久性を調べるために、屋外にコンクリートの試験片を置き、定期的に海水をかけるなどして、試験片の変化を長期間観察しています。

●干潟実験施設

室内で干潟の生態系を再現している施設です。1995年に何も無い状態から稼働を始め、今では水槽内に海藻が繁茂するようになりました。実験開始以来一度も休むことなく、生態系の変化を観察しています。

●沿岸化学物質メソコスム実験施設

メソコスムとは中規模世界のこと。実海域よりは狭いですが、試験管ほど狭くない水槽の中で、沿岸の化学物質の生態系との関係を解明する実験をしています。

●デュアルフェースサーベント水槽

海では色々な方向から色々な大きさの波が来ます。本施設は、L字方に配置された造波版により多方向不規則波を発生させることができます。造波版の動く様子が大きな蛇が動く姿に似ていることからデュアル・フェースサーベント水槽と呼ばれています。

●水中作業環境再現水槽(水中ロボット水槽)

実際の工事に使用されている作業機械を使用して実験ができる国内最大の水槽で、水深・波高・波長等実際の海中を再現して実験をしています。

●油回収実海域再現水槽

海水に実際の重油を浮上させて使用できる国内唯一の大型回流造波水槽。波、潮流、風、海域の塩分濃度、水温を調整出来ます。

●大規模波動地盤総合水路

長さ184m、幅3.5m、深さ12mの水路で、高さ3.5mの風波、2.5mの津波を再現することができます。起こせる波の大きさは、世界最大で、高波や津波の破壊力などを調べます。

●台風防災実験水路

海面上を風が吹くと、波と流れが起こります。長さ28.5mの水路で、台風などのとき海面で生じる現象をご覧いただけます。

主催



国土交通省国土技術政策総合研究所 <http://www.ysk.nilim.go.jp>

独立行政法人港湾空港技術研究所 <http://www.pari.go.jp>

講演者紹介

講演名: 空港の施設の計画・設計・施工に関する最近の技術動向

要旨: 滑走路等空港の諸施設の役割や機能、航空需要予測とその課題、空港施設の設計基準、巡回システムの概要等について紹介する。

講演者: 波多野 匠

略歴 昭和62年4月 運輸省入省
平成19年4月 国土技術政策総合研究所空港研究部
空港施工システム室長
平成21年3月 国土技術政策総合研究所空港研究部
交通政策分析官
現在に至る

講演名: 港湾工事について

要旨: 外海からの波を防ぎ港の安静を保つ防波堤や船舶が係留して人や貨物の積み卸しをする岸壁など港湾施設の建設技術を紹介する。

講演者: 菅野 甚活

略歴 昭和50年4月 運輸省入省
平成19年4月 東北地方整備局企画部防災課
課長補佐
平成21年4月 東北地方整備局仙台技術調査設計
事務所調査課長
平成22年4月 国土技術政策総合研究所港湾研究部
港湾施工システム課長
現在に至る

講演名: 防波堤の役割と構造形式

要旨: 防波堤は港を波から守るための重要な施設であり、世界には数多くの形式の防波堤が存在している。こうした防波堤の構造形式とその歴史的発展について、説明するとともに、これまでに開発されてきた様々な機能を付加した新しい防波堤の防波堤についても紹介する。

講演者: 下迫 健一郎

略歴 昭和61年4月 運輸省入省
平成6年4月 運輸省港湾技術研究所水工部主任研究官
平成12年4月 運輸省港湾技術研究所水工部耐波研究室長
平成13年4月 独立行政法人港湾空港技術研究所
海洋・水工部耐波研究室長
平成20年7月 国土交通省関東地方整備局
横浜港湾空港技術調査事務所長
平成22年4月 独立行政法人港湾空港技術研究所
海洋・水工部海洋研究領域長
現在に至る

講演名: メキシコ湾油流出事故と流出油対応技術

要旨: 2010年4月20日にメキシコ湾において海底油田掘削リグ(ティープウォーターホライズン)が爆発炎上事故を起こした。リグは二日後沈没し、海底にある損傷した油井からは、その後90日間近くに渡り原油の流出が続いた。油流出による被害の大きさを再認識させる惨事であった。本講演では、事故の概要を振り返るとともに、当研究所で行っている油濁対策に関する研究開発について紹介する。

講演者: 藤田 勇

略歴 平成11年4月 運輸省入省
平成19年4月 独立行政法人港湾空港技術研究所
施工・制御技術部液体技術研究室長
平成20年4月 独立行政法人港湾空港技術研究所
施工・制御技術部油濁対策チームリーダー
現在に至る

申込み方法

★電話、FAX、e-mailのいずれかで下記の宛先まで必要事項を記入の上申込み下さい。

〒239-0826 神奈川県横須賀市長瀬3-1-1

独立行政法人港湾空港技術研究所 一般公開事務局

TEL:046-844-5040 FAX:046-844-5072 e-mail:kikaku@ipc.pari.go.jp

★必要事項: ご希望のコース

各コースとも定員40名です。先着順にコースを割り振りますので、A~Dのうち参加可能なコースについて、優先順位をつけてお申し込み願います。

参加人数

当日の交通手段

駐車できる台数が限られますので、車でのご来場をお断りする場合があります。

公共交通機関のご利用にご協力願います。(別添「案内図」「バス時刻表」参照)

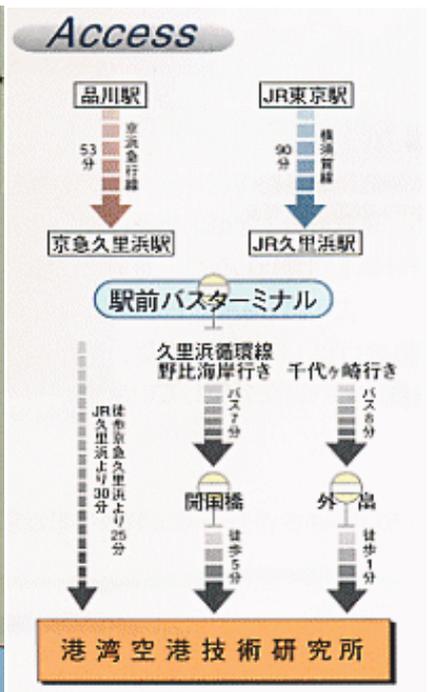
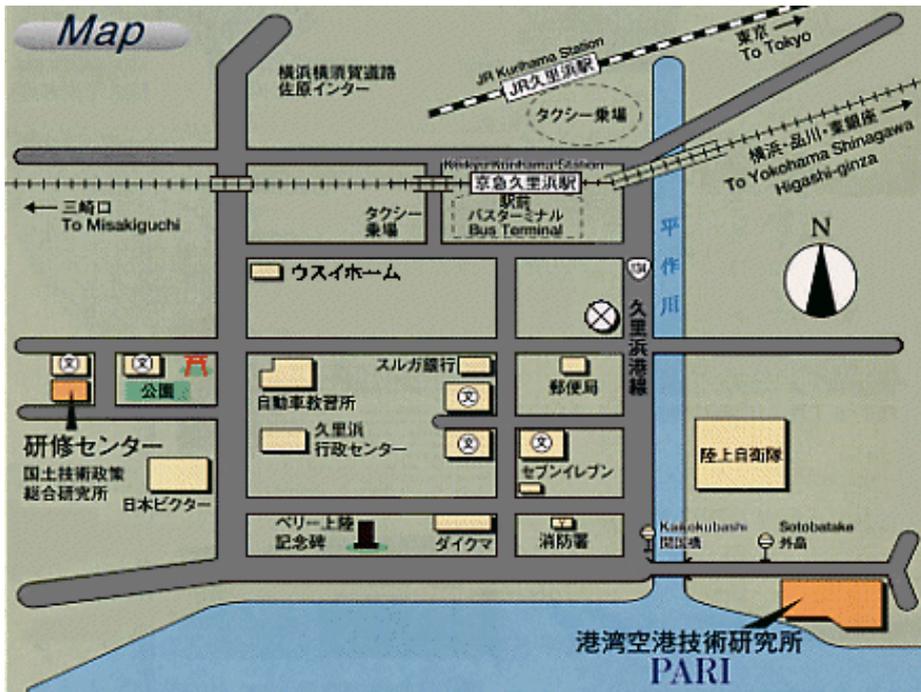
代表者のお名前、住所、連絡先

★締切:平成22年11月19日(金)

※定員になり次第締切とさせていただきます。

※個人情報については、参加申込み以外の用途に使用致しません。

<http://www.pari.go.jp/information/event/h22d/8/akikoukai2010.html>



京浜急行バス時刻表 (11月25日)

☆ 京急久里浜駅⇒港湾空港技術研究所

行き先	開国橋 (開国橋・フェリー経由 野比海岸行き)	外島 (千代ヶ崎・浦賀病院前経由 浦賀駅行き)
8	28	20 48
9	00 45	22
10	19 45	02
11	28	05
12	29	00
13	28	00
14	00	10

お越しの際は**青字のバス**が便利です。

☆ 港湾空港技術研究所⇒京急久里浜駅

行き先	開国橋⇒京急久里浜駅行き	外島⇒京急久里浜駅行き
12	00 42	41
13	01 42	41
14	00 32 50	49
15	14 40	39
16	02 32 47	31

お帰りの際は**赤字のバス**が便利です。